

秋の叙勲

平成30年11月3日に
発令された、秋の叙勲の
市内受章者を紹介します。



瑞宝小綬章 (地方自治功労)

にしもと まさひろ
西本昌弘さん (71歳)

西本昌弘さん(土佐山田町東本町)は、昭和46年に高知県庁に入庁し、37年の長きにわたり公務に精進され、総務部国体局次長や産業技術部長などの要職を歴任、地方自治の育成と発展に寄与されました。

産業技術部長時代は、各産業分野での試験研究および県内企業に対する技術支援を推進し、新たな技術の開発や地域資源・特産品のブランド化の促進を行い、県内地域産業の振興に貢献されました。

在職中、特に心がけていたことはありますか、と尋ねたところ、「誰のための仕事」という言葉が自分の原点であると教えてくれました。常に、県民の皆さまのためにと考えて仕事をされていたそうです。「退職後は、時間があれば実家の山の畑で家庭菜園の日々、文旦などの果樹のほか、野菜は年間で二十数種類作っています」と笑顔で話されました。

香美市文芸 風の流氷

◆一般投稿作品◆ 岡崎桜雲 選

まだ夏日続く日のあり大根蒔く
菊日和一病息災それもよし
人混みの母に似し貌三冬月
秋深し肩を揉み揉み手芸する
ぬか雨につわぶき咲けり一人酒
のど鳴らし猫は南瓜と寝ていたり
愛憎の果てなる姿葉鶏頭
爛漫のコスモスの道デーに行く
晩秋や蔵ひ忘れし鎌ひとつ
孫の好きな柿の今年是不作かな
ご近所と話の向うに十三夜
世話人も祝ひ祝はれ敬老日
柿すだれ日毎色濃く風甘く
軒の影北へ躑れば鱗雲
わが鎌に眠りこける秋あかね
夜の闇を濃くし守宮の腹白き
秋風の掃除日和のこちよき

◆美良布俳句会◆
どこからか柚の香立ちをる過疎のむら
金風の清し百日の祝膳
行幸啓寿ぐ土佐路天高し
お婉堂へ道一筋や秋深し
ひっそりと道曲りをり稲架月夜

楳佐古きよ
上池 児未
中村 紫乃
島中 千江
原 茂
福甲ともり
森本 幸美
山崎 寿美
山崎 貴子
荒木 景子
五百蔵利美
秋山 英身
大場比奈子
岡本 初美
小原 子川
秋 星
吉川 恵

山一面息呑む赤や紅葉宿
腰痛の背伸し腰伸し鴉鳴けり
風叫び寒の用意を促され
来客に急ぎ作りし零余子飯
まずはお茶一座を給ひ十三夜

◆かがみ野俳句会◆

生涯をエプロン姿田菜炊く
傘立に杖多くある敬老会
百歳の母の髪梳く菊日和
ふと覗く手鏡に秋来てゐたり
風つれてコスモス浄土さまよへり

◆かほく俳句会◆

露草も百花のうちや雑草園
月眺め旅行に行ける日も近し
亡き母の確かな仕立て布団干す
アンパンマン列車出発文化の日
影法師お前も八十路秋高し
心ふとかよふ時あり老の秋
コスモスの中のコスモス秋桜
秋麗や山柿ふたつ色付けり
残る世を露のいのちで光りたし
秋味の魚見つけて店に入る
経蔵の豊眩しく文化の日
わが余生宙にぶらぶら木守柿
草の花皇后さまの誕生日
入院す台風進路真只中
行合の空へ銀杏ばつと干す

小野川順子
前田 芳子
高田 米子
中内ゆかり
竹内 ろ草
古川 信子
利根 弘子
山崎 鈴子
坂元 道子
佐竹 洋子
乾 真紀子
奥宮かなえ
黒岩千英子
小松 隆之
小松 昇
杉山 春萌
野村 里史
津田吾燈人
前田 欣一
前田 智
間崎 和代
宮崎ただし
森本 之子
山中 明石
山崎かずみ

◆土佐山田町俳句会◆

虫時雨しころに「新改村」句集
とんぼうに連れられ小さき駆につく
歳月は女を変えて青葉
良心市のじゃがいも北に地震続く
旨しいたる夫の手を引く秋遍路
敬老日なんととはなしに鏡見る
お日柄もよろしく山雀四十雀

◆今月のキラリ◆

広報委員会

まだ夏日続く日のあり大根蒔く
夏の永い1年であった。11月に入っても夏日
の日が続いた。この温かさを見越して、蒔き
残した種を蒔いたのであろう。
わが鎌に眠りこける秋あかね
畑に置き去りにしていた鎌の柄にとんぼが止
まっている。羽の力を抜いて眠りこけている
ような、のどかな秋日和のユーモラスな一句

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-18501 (住所記載不要) FAX 53・5958

吉井勇記念館だより

ミニ企画展 吉井勇の生涯 (交友関係を中心に)

吉井勇は明治、大正、昭和の時代を通して短歌を含め、戯曲や小説など数多くの作品を残しました。
ミニ企画展では、勇が青春を過ごした東京時代、家庭不和等から隠棲した土佐時代、その後再起を遂げた京都時代に分け、直筆作品や資料を通して生涯をたどります。
中でも若き勇に大きく影響を与えた与謝野鉄幹・晶子や、同世代の歌人との交流、土佐隠棲時代を支えた今戸益喜や伊野部恒吉などの交友関係をご紹介します。
ぜひお越しください。
【期間】12月5日(水)～3月10日(日)

展示解説のお知らせ

吉井勇記念館では、企画展示や吉井勇について、分かりやすく紹介しながら鑑賞していただく展示解説を行います。
【内容】毎月第1・3日曜 13時30分～(約1時間)
※申込不要・要入館料

休館のお知らせ

12月3日(月)・4日(火)は展示替えのため休館します。また、12月28日(金)～1月4日(金)まで年末年始のため休館します。
※1月5日(土)から通常営業

◆問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220